

# 子どもの森づくり通信

発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P 子どもの森づくり運動 参加園月例会報 (2022年12月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081 https://www.kodomono-mori.net mailto:info@kodomono-mori.net

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、 活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



ここにきて、大雪による深刻な道路渋滞等、様々な災害が発生しています。 被害に遭われた地域の方々に心よりお見舞い申し上げます。

2022年最後の「子森通信」をお送りします。今月号では、皆様と共に推進してまいりました 今年の主な活動をふりかえりました。おかげ様で、今年も有意義な1年とさせていただきました。

今年積み上げた活動成果をご共有いただき、来年もよろしくお願い申し上げます。

写真は、福島県「伊達子ども園」園庭のどんぐりの木です。寒さに耐えて元気に育ってるとのことです。

(目次)

- 1. JP子どもの森づくり運動 2022年の主な活動報告
- 2. JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2023」(埼玉大会)参加者募集中
- 3. 参加園活動レポート:福井県「大野幼稚園」そば打ち体験
- 4. リレーエッセイ(2022年12月号)
- 5. 事務局(子森ネット)住所移転のご案内

## ■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。 しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来 の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グ ループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

## ■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育連盟 NPO法人 富良野自然塾

(公社) 大谷保育協会 (公社) こども環境学会

保育環境研究所ギビングツリー 国際校庭園庭連合日本支部

(公社) 国土緑化推進機構 (一社) 日本森林インストラクター協会

郵便局の魅力を発信するメディア「JP CAST」は 下記QRコードからご覧いただけます。





## 1. JP子どもの森づくり運動 2022年の主な活動報告

JP子どもの森づくり運動は、2022年も様々な活動を実践することができました。年末にあたり、皆さんと主な活動成果を共有して、来年からの活動の礎としたいと思います。

## (春) 「東北復興グリーンウェイブ」植樹会

2022年5月23日(月)に、岩手県大槌町で、東北の緑の復興を目指すJP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」の活動が、宮古市、山田町、大槌町の三つの市町の子どもたちが参加して行なわれました。活動が「三陸鉄道」の沿線沿いに拡がっていることもあり、子どもたちは、特別臨時列車「どんぐり列車」に乗って集まりました。



岩手県大槌町植樹会

## (夏) 夏期集中オンライン講座

今年度も、より良き保育・幼児教育へのヒントを学ぶオンライン講座」を提供しました。それぞれのテーマにおいて保育・幼児教育をけん引してこられた先達の方々にご出講いただけることになり、とても意義ある素晴らしい講座となりました。



# (秋)「SDGs どんぐり劇団」全国キャラバン

お芝居の力を通じて、SDG s の大切な心を感じてもらう活動です。2023年度からの本格活動を目指して、2022年の秋に、 全国で 3 園のシミュレーション活動を実施しました。



# 「園庭緑化運動2022」

園庭を多様な体験フィールドとして改善していく活動です。2022年は、全国3園でのモデル園活動の最終年となります。
締めくくりの年に、「第16回キッズデザイン

賞」を受賞することができました。



#### 「保育防災認定講座2022」

「本当に子どもたちの命を守る」ための 高い防災意識と実効性ある保育防災の 意識を持つ防災リーダーを養成する 「保育防災アクションマイスター認定講座」 の二期生を養成中です。



## 2. JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2023」(埼玉大会)参加者募集中

年に一度、全国の保育者、保育関係者が集い、より良き保育活動を目指して協議と情報交換を行う、毎年恒例の「全国集会 & 研修会」のご案内です。今回の開催テーマは「**子どもの森づくりとSDGs**」としました。あらためて、JP子どもの森づくり運動の SDG s 活動としての意義やその方法について、みんなで考える機会としたいと思います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。 詳細・参加お申込みは、別紙チラシをご参照願います。ホームページからもお申込みいただけます。

#### ●開催概要

1. 開催日: 2023年2月14日(火)、15日(水)

2. 開催地:さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」子ども研究センター(京浜東北線「与野駅」徒歩7分)

3. 主 催: J P子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2023」実行委員会

4. 特別協賛:日本郵政グループ

5...募集人数(定員): ※会場参加(60名/1日)※オンライン参加(80名/1日)

6. 参加費: ※会場参加(3000円/1日) ※オンライン参加(1500円/1日)

#### ●内容

## 1. 1日目(2/14): JP子どもの森づくり運動活動発表

1)「園庭緑化運動」2022年活動発表

2)「保育防災アクションマイスター認定講座」2022年活動発表、およびマイスター2期生認証式

## 2. 2日目(2/15):全国集会&研修会2023

1) 基調講演 2) パネルディスカッション 3) JP子どもの森づくり運動 2023年度活動案内

## ●講師



【基調講演】 玉川大学教育学部 乳幼児発達学科 教授 大豆生田 啓友先生



【パネルディスカッション】 北海道教育大学 教育学部 教授 能條 歩先生



【園庭緑化運動】 田園調布学園大学大学院 人間学研究科 准教授 仙田 考先生



【保育防災】 消防庁アドバイザー ㈱タフ・ジャパン 代表 鎌田修広氏

## 3. 参加園活動レポート:福井県「大野幼稚園」そば打ち体験

福井県「大野幼稚園」では、師走の行事として「そば打ち体験」が開催されました。年長さん11名と年中さん6名の園児と保護者有志が参加して、藤園長先生の指導のもと、初めてのそば打ちを体験しました。「ねんどみたい~」「手についてとれな~い」等子どもたちは本当に楽しそうでした。そばは最後に、福井名物「おろしそば」にして、おいしくいただきました。







## 4. リレーエッセイ(2022年12月号)

幼児(少)期の環境教育をテーマに、北海道教育大学教育学部岩見沢校 アウトドア・ライフコース 教授 能條 歩 (あゆむ) 先生によるリレーエッセイ9回目の連載です。今月号は、自然の恵みとしての"生態系サービス"についてです。

## 自然がくれるもの~生態系サービス

北海道教育大学 教育学部岩見沢校 アウトドア・ライフコース 教授 能條 歩



前回は、多様性が重要といわれるようになっているという話題を取り上げましたが、このことは自然を守っていくために必要というだけでなく、私たちとトという生き物にとって死活問題的な重要性を持っています。私たちは特に自然に恵みは与えていないと思いますが、自然からは多くの恵みと感じられるものを受け取っています。これらは"生態系サービス"と呼ばれ、多様性を守ることと同じように重要なものと位置付けられるようになりました。

"生態系サービス"には、エネルギーや資源・原材料・食料などに関する"供給サービス"、光合成により酸素が作られたり水が循環したりすることにより他のサービスが成立するための基となる"基盤サービス"、気温や水温が極端な変動を起こさないようにしたり災害を防いだりする"調整サービス"、そしてレクリエーションや癒し・教育の場としての空間を提供するという"文化的サービス"などがあります。

## (https://www.jeef.or.jp/activities/e\_book/seitaikei/)

ある調査によると、この4つの"生態系サービス"のなかで認知度が最も低かったのは"文化的サービス"でした。つまり、資源やエネルギー・材料を提供してもらうことや、自然のシステムによりいろいろな物質やエネルギーがうまく循環していることなどについては自然からの恵みと感じているのに、癒しを得るとか、育ちのための空間としての自然の持つ価値について、私たちはあまり"恵み"とは考えていないようです。このことは、その重要性に気づかず、こどもたちを取り巻く自然が大人の都合でどんどん失われてきた歴史を考えると(残念ながら)なるほどと思ってしまいます。



私たちが自然の価値に気づかずに失ってきたものが、こどもたちの育ちにとっても大変重要であったこと、そして、気づかずに享受している"恵み"というサービスの重要性について知り、こどもたちの育ちが豊かになるためにその"文化的サービス"をなるべくたくさん得られるようにすることが今こそ必要ではないでしょうか。このような資源としての価値だけでない自然の価値を見失わないようにすることは、今を生きる私たちにとってもこどもたちにとっても死活問題だと思います。

## 【筆者近況】

北海道はついに根雪です。連日日中の最高気温が氷点下(真冬日)となり、「気温が0℃だから今日は暖かいね!」という会話が飛び交う季節になりました。暖かい日は嬉しいのですが、雪が融けると翌朝には路面が大袈裟ではなく、スケートリンクのような状態になります。雪国育ちのわたしたちでも歩くのは大変です。北海道に旅行に来られる方は夏用の靴では絶対に歩けませんのでご注意を!



# 5. 事務局(子森ネット)住所移転のご案内

子森ネットは、住所移転に伴い、2023年1月より下記住所にて業務を行います。 お手数ですが、住所録の変更をお願い申し上げます。なお、電話・FAX番号、メールアドレスに変更はありません。

⇒ 【新住所】〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14